

4道県 地域の縄文遺跡群を 世界遺産に提案

にユネスコ総会で世界遺産条約が採択されました。日本は1992年にこの条約に批准しています。

現在、我が国には14件の世界遺産が登録されています。

今回提案された遺跡は、4道県にまたがる広い地域が対象。道内には、史跡入江・高砂貝塚をはじめ、伊達市北黄金貝塚、森町鷺ノ木遺跡、函館市大船遺跡などがあり、本州では、三内丸山遺跡や大湯環状列石、亀ヶ岡石器時代遺跡など貝塚やストーンサークルが認められます。

地域がつくる 史跡整備

昨年12月12日、北海道・青森県・岩手県・秋田県及び関係市町は、この地域の縄文遺跡群を世界遺産暫定リストに追加する提案書を文化庁に共同で提出しました。

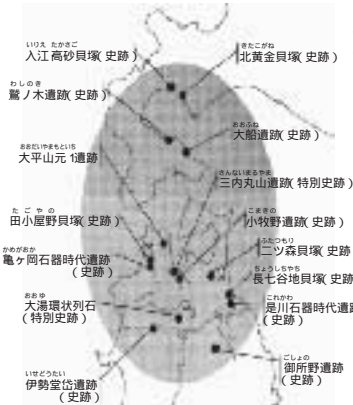
世界遺産は、顕著な普遍的価値を有する「遺跡」や「自然」のことで、世界のすべての人々が共有し、未来の世代に引き継いでいくべき人類共通の宝です。

世界遺産を損傷や破壊から保護し、保存していくためには、国際的な協力や援助の態勢を確立することが必要で、こうしたことを目的として、1972年

現在史跡入江・高砂貝塚は、整備に向けての検討が進められています。その中で、人と自然との共生の場としての空間づくり」という項目があります。過去の文化や自然とふれあい、遺跡を守り伝え、さらに未来へと遺跡を伝えていくことが大切です。

このようなことを、実現していくためには、史跡整備が始まる前段階から地域の方々の協力が不可欠です。そして、こうした活動こそが、太古の文化を見直すきっかけとなり、ひいては地域の文化を見直すことにもつながると考えられます。

遺跡が単に保存され、整備されればよいということではなく、世界遺産に向けて地域が誇る文化遺産として多くの人たちに愛される史跡となるために、皆さんの一層のご協力をお願いいたします。



世界遺産に提案した遺跡群

消費者連絡会だより

省エネで 出費抑えよう

高い燃料（石油・ガス）価格で悩まされているこの冬。家庭の工夫で出費を抑えましょう。

- ・重ね着などをして暖房温度を下げる工夫をしましょう
- ・空調設備などを使って、室内の空気を循環させ室温のムラをなくしましょう。
- ・窓に断熱フィルムを貼ったり、厚手のカーテンや長めのカーテンを使用し、室内の暖房効率を高めましょう。
- ・食器などは、つけ置き洗いやゴム手袋を活用して給湯温度を低く抑えましょう。
- ・食器洗い、洗面や歯磨きの際は、お湯を出しっぱなしにしないようにしましょう。
- ・お風呂は入浴間隔をあけずに入り、保温シートやフタを活用しお湯をさめにくくしましょう。

・ガスコンロは点火時にガスがたくさん出るので、点火後は

適量に細めて使いましょう。車は運転方法によってガソリンの消費量が変化します。路面状況やアイドリングなどを避け、省燃費運転を心がけましょう。



消費者連絡会の おすすめ品

酸 化防止剤、合成保存料等を一切使用していない三陸名産品をおすすめしています。

煮干	300g	600円
花かつお	75g	300円
長ひじき	75g	400円
毎月25日を締切りとし、27日に受け渡します。		
虻田	佐々木宅	☎76-4589
温泉	岡村宅	☎75-2704
役場 産業課		☎74-3005